

二一九一番

雁かりが音ねを 聞ききつるなへに 高松たかまつの 野のの上うへの草くさ  
そ 色いろづ付きにける

二一九二番

我わが背せ子こが 白しろたへ衣ころも 行ゆき触ふれば にほひぬ  
べくも もみつ山やまかも

二一九三番

秋風あきかぜの 日ひに異けに吹ふけば 水茎みづくきの 岡おかの木この葉はも  
色いろづ付きにけり

二一九四番

雁かりがねの 来鳴きなしなへに 韓衣からころも 竜田たつたの山やまは  
もみちそめたり